

幼児体育の研究

—— わらべ唄 ——

福 原 麻 子*

A Study of Physical Education for Young Children

——Nursery Rhymes——

Asako HUKUHARA

子どもの遊びわらべ唄は、遠い祖先の信仰や習慣から生れ、人々は祭りや、神楽を舞い集団をひろげていったものが、子ども達のなかに流れていったと云われる。わらべ唄は、明治、大正、昭和初期生れのものにとっては、親兄弟と共に暮した日々が、わらべ唄と共になつかしくいつまでも脳裏にあるものだ。

昨今都市化現象による、社会環境や自然環境の急激な変化と家族構成の変化などが、子ども達の遊びを変え、わらべ唄も街角から消えつつある。昔わらべ唄は、夕暮れに集団を作って子ども達は遊んだ、大きい子ども(小学校高学年)が、小さい子どもをかばいながら、或わ子守りをしながら遊び、仕事から疲れて帰途につく、おとなの心を子どもの唄う、わらべ唄がなごませた。わらべ唄は、生活のリズムの表現であり、節の折り目を歌い、風俗習慣をおとなと子どもが、心を通せて来た遊びである。

目 的

わらべ唄が、すたれつつある現在、本学幼児教育学科の学生および学生の母親、そして市内某幼稚園の年長児のお母さん方に、幼少時代わらべ唄で遊んだ頃を思い出していただき、なつかしいわらべ唄の調査にご協力いただき、18、19才、20代、30代、40代のわらべ唄の推移を考察してみることにした。

方 法

調査対象 幼児教育学科 18才1年47名 19才1、2年69名 20代2年31名と母親9名で計40名
30代70名 40代56名合計 282名

調査期間 昭和63年9月1日～9月30日に質問式アンケート調査用紙で、内容は下記の要領で実施した。

幼少時代にわらべ唄をうたって遊んだことを思い出して該当するものに○印をして下さい。又その他では自分達の地方で唄って遊んだうたを書いて下さい。

出身地

何人兄弟ですか

1. 手まり遊び唄

1. あんたとごっこ
2. うちの隣の三毛猫は
3. おはぎがお嫁に行くときは
4. いちもんめの一助さん
5. ひとつとや
6. 雪がチラチラ向から
7. ずいずいずっころばし
8. その他

2. 子取り遊び唄

1. 花いちもんめ(ふるさと求めて)
2. じゃんじゃのももくい
3. どの子がほしい
4. たんす長持どの子がほしい
5. その他

3. 輪あそび唄

1. 中の中の小坊さん
2. 中の中の地藏さん
3. かごめかごめ
4. ひらいたひらいた
5. その他

4. 関所あそび

1. 通りゃんせ

* 幼児教育学科

2. さくらさくら
3. その他
5. なわとび遊び唄
1. 大波小波
2. 郵便屋さんお落ちました
3. 郵便屋さんおはいり
4. 一羽のカラスがカァカァ
5. お嬢さんおはいり
6. その他
6. 孤あそび唄
1. あぶくたつたにえたつた
2. れんげ摘もか花摘もか
3. ことしのぼたん
4. その他
7. 天気占い唄
1. 夕やけこやけ
2. カラスどこえ行く
3. その他
8. 揺り遊び唄
1. 地獄極楽
2. なべなべそこぬけ
3. その他
9. 鬼ごっこ遊び唄
1. 鬼さんこちら手のなる方へ
2. 鬼ごっこするものこの指さわれ
3. その他
10. 鬼を決める時のジャンケンうた
1. おちゃらかおちゃらか
2. げんこつ山の狸さん
3. お寺の和尚さんが
4. ジャンケンほかほか北海道
5. ちょっと婆さんおにぎり頂だい
6. 下駄かくしちゅうねんぼー
7. その他
11. しぐさ手合せ指あそび唄
1. らかさんがそろたら
2. こどもとこどもが喧嘩して
3. うちのこんべいさんが
4. 一かけ二かけで三かけて
5. ひとつヒヨコが豆くて
6. あがり目ががり目
7. だるまさんだるまさん
8. その他
12. お手玉遊び唄
1. おひとつおいておさら
2. その他
13. 別れうた
1. おみやげ三つたこ三つ
2. さいなら三角またきて四角
3. その他
14. わらべ唄で遊んだ場所 (複数回答可)
1. お家の中で遊んだ
2. 近隣の横道で遊んだ
3. お家の庭で遊んだ
4. 保育所、幼稚園で遊んだ
5. 公園で遊んだ
6. 野原や広場で遊んだ
7. 小学校の時、休み時間に
8. その他の場所
15. わらべ唄を教えてくれた人
1. 祖母
2. 母親
3. 親せきのおばさん
4. 姉
5. 近所のおばさん
6. 近所のお姉さん
7. 友達
8. 保育所、幼稚園の先生
9. その他の人
16. わらべ唄を一番よく唄って遊んだ年令
3才 4才 5才 6才 7才 8才 9才
(年少)(年中)(年長)(小1年)(小2年)(小3年)
10才
(小4年)
17. わらべ唄は
1. 自分の子どもにも伝えたい。
2. 時代が違うから伝えることない
3. その他

以上

結果及び考察

わらべ唄は、育った地方によって、遊び方も歌い文句もそれぞれ違ってくるので、出身地をみてることにした。表1の通り、学生、母親とも、220人(78.0%)が、広島県内出身者である。山口県の18人(6.4%)、島根県16人(5.7%)と、九州地方の10人(3.6%)である。7割以上が広島県出身者である。

兄弟数によって遊びも広範囲になるのでみてみると

表1 出身県

県 名称	広島	山口	島根	鳥取	岡山	四国	九州	関西	東海	関東	東北 北陸	計
学生	122	7	8	0	1	0	2	2	0	3	1	146
母親	98	11	8	1	1	6	8	2	1	0	0	136
計	220	18	16	1	2	6	10	4	1	3	1	282
%	78.0	6.4	5.7	0.4	0.7	2.1	3.6	1.4	0.4	0.9	0.4	100

表2の通り、2人兄弟が130人(46.0%)、3人兄弟79人(28.0%)、4人兄弟31名(11.0%)、ひとり子23人(8.2%)である。とくに2人兄弟が多数に占めている。40代は戦前後生れ(昭和14~23年)で、当時の家庭では、4~6人兄弟は普通の子ども数の時代であった。

わらべ唄のアンケートをとるにあたり、わらべ唄はいろいろな意味と遊び方があり、地方によって唄い文句が違っていても遊び方が同じのがみられるので、13分類にして考察した。

1. 手まり遊び唄は、「まり」自体の発達で、木棉

表2 兄弟数

兄弟数 年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	12	計
18	2	24	21	0	0	0	0	0	0	0	47
19	6	44	16	3	0	0	0	0	0	0	69
20	6	21	10	3	0	0	0	0	0	0	40
30	3	32	20	9	4	1	0	0	0	1	70
40	6	9	12	16	7	3	2	0	1	0	56
計	23	130	79	31	11	4	2	0	1	1	282
%	8.2	46.0	28.0	11.0	3.9	1.4	0.7	0	0.4	0.4	100

表3 手まり唄

年(入) 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	あんたとこ ごさ	89.7	ずいずい ずっころば し	62.3	あんたとこ ごさ	97.5	あんたとこ ごさ	92.9	あんたとこ ごさ	94.6
2	ずいずい ずっころば し	70.2	あんたとこ ごさ	49.2	ずいずい ずっころば し	47.5	ずいずい ずっころば し	57.1	いちもんめ の一助さん	76.8
3	いちもんめ の一助さん	19.1	いちもんめ の一助さん	15.9	いちもんめ の一助さん	12.5	いちもんめ の一助さん	37.1	ずいずい ずっころば し	66.0
4	おはぎがお 嫁に	10.6	おはぎがお 嫁に	8.7	おはぎがお 嫁に	5.0	おはぎがお 嫁に	10.0	おはぎがお 嫁に	32.1
5	ひとつとや	10.6	ひとつとや	5.8	ひとつとや	0	ひとつとや	10.0	ひとつとや	8.96
6	うちの隣の 三毛猫	0	うちの隣の 三毛猫	0	うちの隣の 三毛猫	0	うちの隣の 三毛猫	0	うちの隣の 三毛猫	3.6
7	雪がチラチ ラ	0	雪がチラチ ラ	0	雪がチラチ ラ	0	雪がチラチ ラ	0	雪がチラチ ラ	1.8

綿からゴムまりに変わってテンポも早くなり、唄自体も物語風で遊んだものが、短いものになっていった。表3の通り、19才をのぞいて、1位「あんたとこどこさ」が、年代の高い方が回答率が、94.6%と高い、40代の2位の「いちもんめの一助さん」が、76.8%と他の年代の「ずいずいずっころぼし」よりも高い、「おはぎがお嫁に行くときは」「ひとつとや」の順である。「雪がチラチラ向から」は、近畿地方で、まりつきに遊ばれた時期があったので問うたが、40代の1.8%のみである。その他では「てんでんまり」「甘酒ほいほい、白酒ほいほい」で、まりつき遊び唄をうたったと云うことである。又手まり唄遊びは、つくテンポに合うもの何でも歌って遊べたことである。

2. 子取り遊び唄は、二組が向き合って歌問答しながら指名された子どもふたりが片手で引っぱりあう遊びであり、地方によって歌文句も変る。表4の通り、1位は18～40代とも「花いちもんめ」が、61.7～82.5%と高い、全国どこでも遊ばれた子取り遊びの代表である。2、3位も18～40代同様の順位である。回答数のなかった「じゃんじゃのももくい」は、やはり

問答式で縦一列に並んで先頭に鬼が立って、列の最後の子を取る遊びであるが、遊び方は知っていても、歌文句が違うので回答が得らなかつたようだ。

3. 輪あそび唄は、子ども達が輪になって、うたいながら鬼のまわりをぐるぐる回って遊ぶ。表5の通り、1位の「かごめかごめ」は、18～40代とも87.5～97.9%と高く、輪あそび唄としてよく遊ばれたと云うことである。「中の中の小坊さん」「中の中の地蔵さん」も、40代の1.8%と20代の2.0%をのぞいて回答はゼロであったが、遊び方は同じで、歌文句が違うだけであるが、このわらべ唄をうたって遊んだことがないと云うことになる。

4. 関所あそび唄は、七五三参りのことから、歌われた遊びで、アーチの下を子ども達は、うたいながら回るのである。表6の通り、1位の「通りゃんせ」が、18～40代が81.4～97.9%と多く遊んでいることである。「さくらさくら」は、同じ遊び方であるが、10%台と非常に低い、さくらを唄って遊んだことがないと云うことである。

5. なわとび遊び唄は、一人なわとびと、二人以上

表4 子取り遊び唄

年令(人) 数 順位	18 (47人)			19 (69)			20 (40)			30 (70)			40 (56)		
	名 称	回答率		名 称	回答率		名 称	回答率		名 称	回答率		名 称	回答率	
1	花いちもんめ	61.7		花いちもんめ	68.1		花いちもんめ	82.5		花いちもんめ	64.3		花いちもんめ	71.4	
2	どの子がほしい	59.6		どの子がほしい	56.5		どの子がほしい	42.5		どの子がほしい	58.6		どの子がほしい	66.0	
3	たんす長持ち	48.9		たんす長持ち	42.0		たんす長持ち	30.0		たんす長持ち	54.3		たんす長持ち	66.0	
4	じゃんじゃのももくい	0		じゃんじゃのももくい	0		じゃんじゃのももくい	0		じゃんじゃのももくい	0		じゃんじゃのももくい	0	

表5 輪あそび唄

年令(人) 数 順位	18 (47人)			19 (69)			20 (40)			30 (70)			40 (56)		
	名 称	回答率		名 称	回答率		名 称	回答率		名 称	回答率		名 称	回答率	
1	かごめかごめ	97.9		かごめかごめ	97.0		かごめかごめ	87.5		かごめかごめ	94.3		かごめかごめ	92.9	
2	ひらいたひらいた	59.6		ひらいたひらいた	69.6		ひらいたひらいた	35.0		ひらいたひらいた	55.7		ひらいたひらいた	60.7	
3	中の中の小坊さん	2.0		中の中の小坊さん	0		中の中の小坊さん	0		中の中の小坊さん	0		中の中の小坊さん	1.8	
4	中の中の地蔵さん	0		中の中の地蔵さん	0		中の中の地蔵さん	0		中の中の地蔵さん	0		中の中の地蔵さん	0	

表6 関所あそび唄

年令 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	通りゃんせ	97.9	通りゃんせ	97.0	通りゃんせ	97.5	通りゃんせ	81.4	通りゃんせ	94.6
2	さくらさくら	19.0	さくらさくら	11.6	さくらさくら	5.0	さくらさくら	10.0	さくらさくら	14.3
3	無回答	2.1	無回答	0	無回答	0	無回答	17.1	無回答	3.6

で行なう場合の二種類あるが、どこの地方にもあるなわとび唄である。表7の通り、1位は「大波小波」が、18～40代とも90%以上と高い、2～5位も、歌い文句は違っても遊び方は、だいたい同じであり、「郵便屋さんおはいり」と「お嬢さんおはいり」も同様、とびながらジャンケンをする遊びである。「郵便屋さんお落ちました」の場合は、跳びながら、はがきをひらう真似をしながら、かがんで跳ぶのである。2～4位が18～40代とも前後しているのも、当時遊んだなわとびの印象がそのままパーセントに出たようである。

6. 孤あそび唄は、夕暮れもう家に帰えらなくてはならない短い時間に遊ぶのである。問答歌でやりとり

しながら、歌が終ると「わあわあ」と、子ども達は逃げる。つかまえられた子が、今度の(孤)になるのである。表8の通り、1位の「あぶくたった煮えたった」が、18才では100%、19、20代は90%以上である。30、40代は50%台となっている。18～20代と30、40代の遊んだ時代の差が大きく出ている。2位の「ことしのぼたん」も、半数近い人が遊んだことがある。「れんげ摘もか」は、春先のれんげ草が咲きみだれている野原で、やはり歌問答で最後に逃げる子、つかまえる子と、野原を駆けめぐる楽しい遊びであるが、30、40代の極く僅かの人のみ知っているだけである。

7. 天気占い遊び唄は、夕ぐれに遊び疲れて家路を

表7 なわとび遊び唄

年令 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	大波小波	93.6	大波小波	98.6	大波小波	97.5	大波小波	94.3	大波小波	94.6
2	お嬢さんおはいり	70.0	郵便屋さんおはいり	69.6	郵便屋さん落ちました	62.5	郵便屋さん落ちました	41.4	郵便屋さんおはいり	53.6
3	郵便屋さんおはいり	61.7	郵便屋さん落ちました	66.7	お嬢さんおはいり	62.5	お嬢さんおはいり	37.1	お嬢さんおはいり	51.8
4	郵便屋さん落ちました	46.8	お嬢さんおはいり	47.8	郵便屋さんおはいり	57.5	郵便屋さんおはいり	35.7	郵便屋さん落ちました	32.1
5	一羽のカラス	27.7	一羽のカラス	26.0	一羽のカラス	12.5	一羽のカラス	4.29	一羽のカラス	3.6

表8 孤遊び唄

年令 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	あぶくたった	100	あぶくたった	95.6	あぶくたった	90.0	あぶくたった	55.7	あぶくたった	53.7
2	ことしのぼたん	46.8	ことしのぼたん	52.2	ことしのぼたん	42.5	ことしのぼたん	44.2	ことしのぼたん	39.3
3	れんげ摘もか	0	れんげ摘もか	0	れんげ摘もか	0	れんげ摘もか	5.7	れんげ摘もか	7.1

たどる子ども達が、明日の天気占う遊びである。下駄の片方を空中にけり上げる。地上にお落ちた履物の裏表で、「晴れ」「雨」を決める。子どもらしい古い遊びである。「夕やけこやけ」で天気占い遊びは、18～40代まで、50%前後でとくに40代の69.6%と、18才の48.9%とでは、20.7%の差があることである。無回答には、20代が47.5%と高いのと、どの年代にも無回答が二位のランクにあることは、40代をのぞいて、知っていると知らないのが半々である。広島のをらべ唄の代表の「からすどこへ行く」が、5%前後と知らないことは、予想外であった。その他では、「明日天気になれ」と靴をほりあげたと云うことである。

8. 揺り遊び唄は、ふたりの親が向い合って両手の指を組み合わせ、中に子どもが入って揺りながら、

親 地獄極楽閻魔さんの前でお経よまれて親に何食わす

子 芋食わす

親 この子は悪い子針の山へ飛んで行け

親に芋食わす親不孝で、強く揺りながらほり出す。

子 鯛食わす

親 この子は良い子極楽へ飛んで行け

親に鯛食わす親孝行と、両手組合せた一方を低くして子どもに掛けさせ、揺りながらリズムをつけて、ゆっ

くりおろしてやる。なべなべそこぬけは、ふたり向い合って両手を合せて揺りながらひっくりかえって背中合せになる。両方の遊びは、子どもがとても喜ぶ遊びである。表10の通り、地獄極楽遊びを知っているのは、40代の14.3%、30代の5.7%と極く僅かである。昔は、わらべ唄遊びを通して、自然に親孝行をするよう悟したのである。「なべなべそこぬけ」は、30代の52.9%を除いていずれも80%以上遊んだと云うことである。

9. 鬼ごっこ遊び唄は、鬼さんこちらは、鬼が目かくしをし、鬼のまわりを拍手をして鬼を呼ぶ遊びである。この指さわれは、親になるものが大声で歌いながら親指を向けて突き出すと、その指をめぐらせて子どもが集まる。そしてジャンケンが始まる。表10の通り、1. 2とも、30代をのぞいて80%以上が遊んだと答えている。30代は50%以下となっているが、全体的に鬼ごっこ遊びは、いろんな遊び方があり、誰れでもが一番よく遊んだ遊びではないだろうか。

10. 鬼を決める時のジャンケンうたは、歌文句通りにしぐさをしながら、最後にジャンケンをして勝ち負けを決める。表12の通り、18～20代までが1～3まで、70%以上と高い。30、40代では50%以下を示しているが、4～6位になると、18、19では10%台であり、30、40代では無回答が、26.8～30.0%と高い、総体的

表9 天気占い

年令 入数 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	夕やけこやけ	48.9	夕やけこやけ	50.7	無回答	47.5	夕やけこやけ	54.3	夕やけこやけ	69.6
2	無回答	46.8	無回答	30.4	夕やけこやけ	42.5	無回答	40.0	無回答	21.4
3	からすどこ行く	4.3	その他	15.9	その他	10.0	からすどこ行く	11.4	その他	7.1
4	その他	4.3	からすどこ行く	2.9	からすどこ行く	5.0	その他	5.7	からすどこ行く	5.4

表10 揺り遊び唄

年令 入数 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	なべなべそこぬけ	87.2	なべなべそこぬけ	98.6	なべなべそこぬけ	87.5	なべなべそこぬけ	52.9	なべなべそこぬけ	80.4
2	無回答	10.6	地獄極楽	1.4	無回答	10.0	無回答	41.4	地獄極楽	14.3
3	地獄極楽	2.1	無回答	0	地獄極楽	2.5	地獄極楽	5.7	無回答	5.4

表 11 鬼ごっこ遊び唄

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	鬼さんこちら	95.7	鬼さんこちら	97.1	鬼さんこちら	85.0	鬼さんこちら	50.0	鬼ごっこするもの	89.3
2	鬼ごっこするもの	91.5	鬼ごっこするもの	91.3	鬼ごっこするもの	75.0	鬼ごっこするもの	38.6	鬼さんこちら	82.1

表 12 鬼を決める時のジャンケンうた

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	おちゃらかおちゃらか	83.0	おちゃらかおちゃらか	79.7	お寺の和尚さん	75.0	おちゃらかおちゃらか	50.0	おちゃらかおちゃらか	46.0
2	げんこつ山の狸さん	76.6	げんこつ山の狸さん	79.7	おちゃらかおちゃらか	72.5	げんこつ山の狸さん	45.7	げんこつ山の狸さん	44.6
3	お寺の和尚さん	76.6	お寺の和尚さん	73.9	げんこつ山の狸さん	65.0	お寺の和尚さん	38.6	お寺の和尚さん	35.7
4	ジャンケンほかほか北海道	17.0	ジャンケンほかほか北海道	14.5	ジャンケンほかほか北海道	17.5	無回答	30.0	無回答	26.8
5	無回答	14.9	無回答	13.0	ちよっと婆さん	5.0	ジャンケンほかほか北海道	7.1	ジャンケンほかほか北海道	8.9
6	ちよっと婆さん	0	ちよっと婆さん	2.9	下駄かくし	5.0	下駄かくし	5.7	下駄かくし	7.1
7	下駄かくし	0	下駄かくし	2.9	無回答	2.5	ちよっと婆さん	0	ちよっと婆さん	5.36

にジャンケン唄の1~3位はよく遊ばれたことである。5~7位は主として近畿方面でよく唄われていた遊びであったために回答数が少数であったのかも知れない。

11. しぐさ手合せ指あそび唄は、女の子の遊びであり、雨や雪が降って外遊びの出来ない日など、軒下や家の中で、子ども達が集って「せっせっせ」と双方の両手を合せながら、物まね唄などを併せながら動作が活発になって行く。表13の通り、しぐさ遊びとしての、「あがり目ががり目」と「だるまさんだるまさん」が、18~20代と30、40代の1、2位が入り替っているが、双方ともよく遊ばれている。18~40代までいずれも66.0~93.6%と高い。40代の3位「一かけ二かけて三かけて」が57.0%と高い。手合わせの遊びは、おたがいの愛をたしかめあうためにと、古くから友とし、母とし、祖母とも手合わせてうたい、その手打ち遊びの歴史は長いのである。

12. お手玉唄遊びは、古からあった遊びであり、女の子達の楽しい遊びの一つである。地方によって色々な違った呼称があり、又遊び方も地方地方で多少違いがある。1~9個で色々な手段を変えて遊ぶのである。表14の通り、無回答が「18~30代までが、50%以上であるのにお驚きである。日本の最も伝統的な、女の子の遊びがあまりにも遊ばれてなかったことである。40代は、さすがわ80%と時代の推移が深く感じられた。

13. 別れ唄は、まだ子ども達は、家に帰りたくない、それぞれの家の方へ帰って行くと、それを追いかけて行き、つかまえて唄をうたい最後に背中を「とん」とたたいて逃げて行く、追いかけるのを繰返ししながら、家に帰って行く。可愛い子どもならではの別れ唄である。表15の通り、1位の「さいなら三角また四角」が、18~40代まで60%以上が別れ唄をうたって

表13 しぐさ手合せ指あそび唄

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	あがり目さ あがり目	93.6	あがり目さ あがり目	91.3	あがり目さ あがり目	90.5	だるまさん だるまさん	92.9	だるまさん だるまさん	73.1
2	だるまさん だるまさん	83.0	だるまさん だるまさん	87.0	だるまさん だるまさん	82.5	あがり目さ あがり目	82.9	あがり目さ あがり目	66.0
3	子どもとこ どもが喧嘩 して	25.5	子どもとこ どもが喧嘩 して	18.8	子どもとこ どもが喧嘩 して	25.0	一かけ二か けて	20.0	一かけ二か けて	57.0
4	一かけ二か けて	8.5	うちのこん ぺさん	10.1	一かけ二か けて	15.0	らっかさん が	5.7	らっかさん が	19.6
5	うちのこん ぺさん	6.4	一かけ二か けて	10.1	ひとつヒヨ コが	2.5	うちのこん ぺさん	4.3	子どもとこ どもが喧嘩 して	17.9
6	ひとつヒヨ コが	6.4	らっかさん が	5.8	らっかさん が	0	子どもとこ どもが喧嘩 して	2.9	うちのこん ぺさん	7.1
7	らっかさん が	2.1	ひとつヒヨ コが	1.4	うちのこん ぺさん	0	ひとつヒヨ コが	1.4	ひとつヒヨ コが	7.1

表14 お手玉遊び唄

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	無回答	53.0	無回答	74.0	無回答	90.0	無回答	57.0	おひとつお おいて	80.0
2	その他	38.2	その他	18.8	その他	10.0	おひとつお おいて	27.0	無回答	21.0
3	おひとつお おいて	8.5	おひとつお おいて	7.2	おひとつお おいて	0	その他	0	その他	1.7

表15 別れ唄

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	さいなら三 角	74.0	さいなら三 角	94.2	さいなら三 角	80.0	さいなら三 角	64.0	さいなら三 角	64.3
2	無回答	23.4	無回答	4.3	無回答	12.5	おみやげ三 つ	28.0	おみやげ三 つ	35.7
3	おみやげ三 つ	2.1	おみやげ三 つ	2.9	その他	5.0	その他	7.1	その他	0
4	その他	0	その他	0	おみやげ三 つ	2.5	無回答	0	無回答	0

遊んだと云うことである。18~20代の2位が無回答であり、30, 40代の2位に「おみやげ三つたこ三つ」と差の推移がみられる。その他のなかで20代では、「さいならあんころ、きなこ」を唄ったと云うことである。

14. わらべ唄で遊んだ場所では、表16の通り、1位の18~20代は「保育所・幼稚園」が60~79.7%と高く、30, 40代では6位で17.9~31.4%である。保育所・幼稚園でなくては遊べなくなった世代と、30, 40代の1, 2位の近隣で遊ぶことが出来た世代の、遊び場の推移が伺える。昔の子ども達は、車社会のない自然のなかで、馳けめぐり雪や雨の日は、お家の中でもわらべ唄遊びで遊べた。子ども達の遊び場として設置されている公園は、18~40代とも7位であることは、限られた街の中のみ設置されているからであろう。その他では遊んだ場所として、川原、お宮の境内、海の浅瀬、田圃、山道、国道、はげ山と自然の中の遊びが伺える。車がほとんど走らなかった40代の時代は、国道が遊び場であったことである。

15. わらべ唄を教えてくれた人では、19~40代の1位の「友達」と遊んだが64.3~79.7%。18才の1位の、80.9%と19, 20代の2位65.0~71.0%が「保育所・幼稚園の先生」に教わっていることである。40代は6位に「保育・幼稚園の先生」とわずか21.4%である。18~40代の2, 3位に「母親」に教わったと上位を占めている。「祖母」の3, 4位も高く、お家の中で

遊ぶ、しぐさ手合せ指あそび等最も祖母と接し教わったことである。わらべ唄は自然に友達から友達へと、つながり伝え遊ばれてきたことであり、これからは保育所・幼稚園でないと、わらべ唄遊びが生れてこないのではないかと思われる結果である。

16. わらべ唄を一番よく唄って遊んだ年齢は、表18をみると、18, 19才の1位は5, 6才の時であり、20~40代の1位は7~9才である。いずれも [13] の教えてくれた人と照合すると、保育所、幼稚園の先生に教わった18, 19才は年中・年長の年齢になる。20~40代は友達と一番よく教え教えられて遊んだ小学校1~3年生の年齢に丁度あてはまっている。18, 19才と20~40代とでは、遊ぶ年齢の推移が時代と共にはっきり出たようである。わらべ唄遊びは、3才頃でおぼろげであり、4, 5才で仲間に入ることが出来、完全に仲間の中で中心になって遊ぶのが、8, 9才であったが、これからはわらべ唄遊びは、保育所・幼稚園で教えられ、遊ぶことで終るのではないだろうか。

17. わらべ唄は、表19の通り、18~40代の1位は、いずれも「自分の子どもにも伝えたい」と85.7~97.2%である。「時代が違うから伝えることはない」も全体で3.2%その他の場合の理由ではとくに40代では、記憶がさだかでないので伝えることに自信がないと云う、又テレビ等で自然に習うものであると云うことである。

表 16 わらべ唄遊びした場所

年令 入数 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	保・幼稚園	76.6	保・幼稚園	79.7	保・幼稚園	60.0	近隣の横道	58.6	小学校の休み時間	73.2
2	小学校の休み時間	74.5	お家の中	72.5	近隣の横道	57.5	小学校の休み時間	58.6	近隣の横道	62.5
3	お家の中	66.0	近隣の横道	69.6	お家の庭	52.5	野原	51.4	お家の庭	58.9
4	近隣の横道	61.7	野原	68.1	野原	50.0	お家の中	50.0	野原	57.1
5	お家の庭	46.8	小学校の休み時間	68.1	小学校の休み時間	50.0	お家の庭	41.4	お家の中	50.0
6	野原	40.4	お家の庭	65.2	お家の中	45.0	保・幼稚園	31.4	保・幼稚園	17.9
7	公園	31.9	公園	37.7	公園	45.0	公園	15.7	公園	3.6
8	その他	4.3	その他	1.4	その他	2.5	その他	1.4	その他	3.6
	川原・お宮		海の浅瀬・山		山の中		神社・田圃		お寺・山道・国道はげ山	

表 17 わらべ唄遊びを教えてくれた人

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	保・幼稚園の先生	80.9	友達	79.7	友達	77.5	友達	77.6	友達	64.3
2	母親	59.6	保・幼稚園の先生	71.0	保・幼稚園の先生	65.0	母親	48.5	母親	50.0
3	友達	49.0	母親	62.3	母親	52.5	保・幼稚園の先生	35.7	祖母	25.0
4	祖母	34.0	祖母	34.8	祖母	30.0	近所のお姉さん	31.4	姉	25.0
5	近所のお姉さん	10.6	近所のお姉さん	14.5	近所のお姉さん	20.0	祖母	21.4	近所のお姉さん	23.2
6	姉	6.4	親せきのおばさん	5.8	親せきのおばさん	15.0	姉	17.1	保・幼稚園の先生	21.4
7	親せきのおばさん	4.3	近所のおばさん	4.3	姉	5.0	近所のおばさん	4.3	近所のおばさん	10.7
8	近所のおばさん	2.1	姉	2.9	近所のおばさん	5.0	親せきのおばさん	2.9	親せきのおばさん	5.4

表 18 わらべ唄を一番よく唄って遊んだ年齢

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	6才	42.6	5才	53.6	8才	35.0	7才	45.7	9才	42.9
2	5	25.5	6	50.7	6	32.5	8	42.9	8	37.5
3	7	25.5	4	34.8	5	32.5	6	38.6	10	30.4
4	8	25.5	7	33.3	7	27.5	9	20.0	7	30.4
5	9	19.1	8	13.0	4	10.0	5	15.7	6	19.6
6	10	6.4	9	7.2	9	7.5	10	8.6	5	8.9
7	4	6.4	3	5.8	3	2.5	4	4.3	4	1.8
8	3	2.1	10	1.4	10	0	3	0	3	1.8

表 19 わらべ唄は

年齢 順位	18 (47人)		19 (69)		20 (40)		30 (70)		40 (56)	
	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率	名 称	回答率
1	教えたい	91.4	教えたい	97.2	教えたい	92.5	教えたい	87.1	教えたい	85.7
2	時代が違う	4.3	時代が違う	1.4	時代が違う	5.0	無回答	8.6	無回答	12.5
3	無回答	4.3	無回答	1.4	無回答	2.5	時代が違う	4.3	時代が違う	1.8

ま と め

「わらべ唄」は、子どもの成長に沿って、さまざまに分化しながら、豊富に今日まで伝わってきた。古き時代に育くまれ受けつがれてきた「わらべ唄」を、18～40代では「手まり唄遊び」から、「子取り遊び」、「輪あそび」、「孤あそび」、「なわとび遊び」、「関所あそび」、「天気占い」、「揺り遊び」、「鬼ごっこ遊び唄」、「ジャンケン唄」、「別れ唄」等の、1, 2位についてはよく遊ばれた。「しぐさ手合せ指あそび」と、「お手玉遊び」には、18～20代と、30, 40代の推移をみることでできた、女の子の遊びで最も古い伝統のあるお手玉遊びが、無回答が70%以上であることは、18～20代ですでに消えつつある遊びの一つとしてみられることだ。遊びのゼロのある分類は、広島地方ではあまり遊ばれていない。わらべ唄の豊富な近畿地方のものが多く入っていたこともあるようだ。遊んだ場所、教えてくれた人、年令等を、総合的にみても、18～20代が保育所・幼稚園で遊び、園の先生方に教わっている。30, 40代では、近隣の横道、小学校の校庭で、友達と遊んだことだ。年令では、18, 19才では、保育所・幼

稚園で教わって遊んだ5, 6才であり、20～40代では、7～9才、小学校の低学年で、小学校の休み時間に校庭で、又帰って近隣の横道等で遊んだと云うことである。子ども達は時代と共に、遊び場所、教えてくれた人、年令と推移してきたことが伺えることが出来た。

「わらべ唄」だけでも、百数十編以上、その他の遊びと消えていったもの加えたら相当の数になる。体育のあそびの中に取り入れられているもの、又しぐさ遊びが表現あそびへとつながって行なわれているものと、「わらべ唄」は、人々の暮しと共に生き、受けつがれ、時代と共に消えつつあると云うことを考察することによって、その推移を見る事が出来た。

引用参考文献

- 馬場富子 今昔こども遊び 明德印刷社
 相馬 大 わらべうた子どもの遊びと文化 創元社
 柳田国男集 第21巻 こども風土記 筑摩書房
 武田 正 わらべ唄歳時記 民俗民芸双書
 相馬 了 「わらべうた」から発展 日本女子体育連盟 4月号

Summary

Nursery rhymes, as in a part of children's play today, were said to be originally created through the people's religious activities and customs in the old time, and then gradually spreaded among children through the festivals and religious dances performed by adults.

Those nursery rhymes used to be so popular as a children's play that almost every person should have enjoyed singing them in their childhood, but now many of them are about to be forgotten in people's memory.

In the present study, the writer discusses the result of a survey on nursery rhymes among people comparing the differences between a group of students whose ages are 18 and 19 years old, and a group of mothers whose ages are in 20s to 40s.